

「ウレタン塗膜防水材料」と「MOCA」について

モカ
特定化学物質

一般的な2成分形ウレタン塗膜防水材料の手塗タイプには、特定化学物質が含まれています。このうち硬化剤に含まれているMOCAについて、2016年9月21日に厚生労働省より関係業界への要請について報道発表がありました。その内容は、MOCAの製造工場での膀胱がんの病歴や所見が明らかになり、健康障害の防止対策の要請が関係業界や事業所に対して行われたということです。

一般的な2成分形ウレタン塗膜防水材料の手塗タイプに含まれる特定化学物質

3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン (MOCA)

トリレンジイソシアネート (TDI)



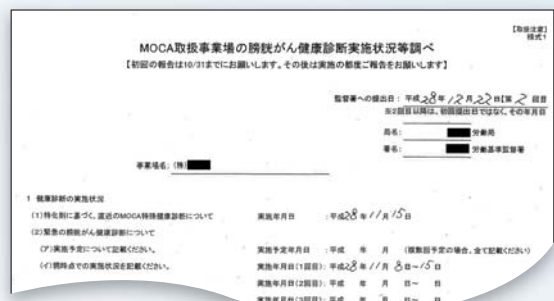
ホームページにおける報道発表



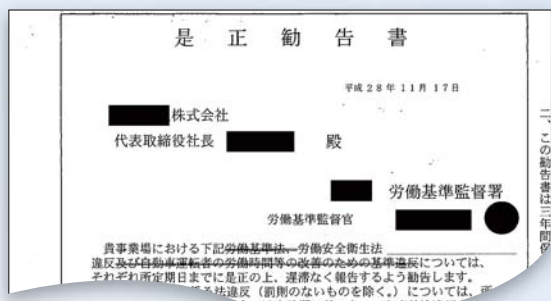
上記特定化学物質が重量の1%を超えて含有しているウレタン塗膜防水材料を施工する場合は特定化学物質障害予防規則が適用されます。

その後、ウレタン防水材料のメーカー団体である日本ウレタン建材工業会をはじめメーカー各社・防水工事業者の団体、および防水工事業者に対して厚生労働省や労働局・労働基準監督署よりMOCA含有製品を取扱う作業者を対象とした膀胱がん検診を含む対策の要請や調査が行われました。また、工事現場や防水工事会社に対しても労働基準監督署の査察が入るようにもなりました。

調査表



是正勧告書



そして、2017年1月26日の厚生労働省のホームページでは、特定化学物質障害予防規則の改正案として、MOCAに係る特殊健康診断に、膀胱がん健診の項目を追加する旨が発表されています。(2017年4月1日施行)



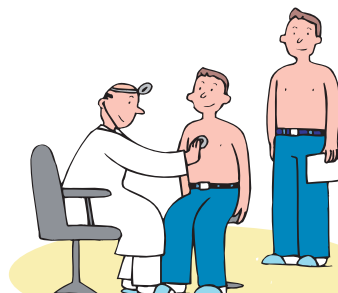
特定化学物質障害予防規則 主な規則の内容は・・・

施工箇所への立ち入り禁止措置



掲示(MOCA が該当)

3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン CH ₂ (C ₆ H ₃ Cl ₂ (NH ₂) ₂) ₂			
応急措置	保護具	取扱い上の注意事項	人体に及ぼす作用
① 目に入った場合は、流水で十分に洗い流す。 ② 皮膚に付着した場合は、衣服を脱ぎ、流水で十分に洗い流す。 ③ 吸入した場合は、新鮮な空気を十分に吸入する。	① 呼吸器保護具(空気清浄機付) ② 作業用手袋(耐有機溶剤用)	① 換気設備を十分に稼働させる。 ② 作業中は換気設備の稼働状況を確認する。	① 人体に対しては膀胱がんの「発がん性」を示し、発がん性が高い。膀胱がんの発症が確認されている。 ② 動物実験では膀胱がん、肺がんが認められている。



健康診断
(膀胱がん検診が2017年4月1日より義務化) 及び診断結果の15~30年間の保存



作業主任者の常駐
作業記録の保存30年間



保護具の使用

などなど・・・

特化則を遵守したウレタン塗膜防水の施工は、記録の保存を含め防水工事会社にとって大きな負担となる上、施工管理も複雑になります。株式会社ダイフレックスでは、特定化学物質を含有するウレタン防水材料の施工現場に対して労働基準監督署の査察が入り始めた2008年より特定化学物質無配合のウレタン塗膜防水材料の開発を開始し、2012年に上市しました。このようなウレタン塗膜防水を使用することで、作業者の労働安全衛生を確保するとともに、建物の使用者や施工管理者の健康被害への不安を取り除くこと、また周辺環境に悪影響を及ぼさないこととなり、社会的にも重要な事項と考え、

「MOCAを含有し、かつ特化則の対象となるウレタン防水材料」の製造を2017年6月30日に全て中止することにしました。

ダイフレックスはこれまで以上に安全・安心な防水材料の提供に尽力していくとともに、業界全体もその方向に向かっていくことを期待しています。

特定化学物質 MOCA TDI 無配合 ウレタン塗膜防水材料

ノンモカ (NON MOCA)

2成分形ウレタン塗膜防水材料

DSカラー・ゼロ



1成分形ウレタン塗膜防水材料

エバーコート Zero-1 シリーズ



施工性や硬化性は従来のウレタン塗膜防水材料と変わりません。